

復興へむかえて

小池 亮輔

十月二十三日五時五十六分。新潟県中越地震が中越を、おそった。地震が来てまもなく外に出た。田んぼのそばに集って地震がおさまるのをまっていた。でも地震はとまらずたくさんくる。少ししてから中学校に避難した。道路が壊れていた。歩みにくかった。たくさんの家が壊れていた。中学校に避難した。お

山古志小学校

腹がへっておとよこになっていた。次の日ハリコプターに乗って避難所に避難した。23日後一時帰村がきまると家に帰れることになった。ぼくは家の写真をとってくるようにたのみました。とうちゃんが帰って来て写真を見せてもらった。うちの人はその写真を見てすごくおどろいていた。それから仮設にうつり、ふつうの生活をあぐらしていたら、山古志のトンネル工事見学によはれてちよと久しぶりに山

古志へ行っただ。まだちょっと道はくずれていて走りずらかった。その時、行事現場で山古志の復興状況を聞いて直っている道路もたくさんあってホッとしました。ほくはこれが復興への第一歩だと思います。

それから山古志の復興が進み山古志もかなり直ってきています。家もこわしはじめてスッキリしてきました。これから山古志の復興のためにがんばっている人ともにもがんばることも山古志のためにがんばることも山古志のためにがんばることをからがんば

山古志小学校

て行きたいと思います。